

大道理かわら版 むくろじ

発行元
大道理夢求の里交流館
運営協議会
TEL : 0834-88-1830

平成28年
9月1日号
(No.15)



大道理地区の世帯数と人口	
世帯数	193世帯
人口	399人
男性	184人
女性	215人
高齢化率	53.6%
(平成28年7月31日現在)	

地域の皆さんのお助け隊！ 便利屋さんをご紹介

「電球を替えてほしい」、「年齢を重ねて体力的に難しくなった草刈りや、庭木の剪定をして欲しい」といった作業の代行や、「電化製品が壊れてしまった」など専門的知識が必要な業者さんへ修理依頼するなど、大道理地区の皆さんの生活に身近な困り事に対して、解決のために具体的な作業を行う「便利屋さん」。

幅広い依頼内容を解決するために、それぞれの専門知識を持つメンバーなどで構成されている組織で、総勢約二十数名おられるとのことです。今回はこちらの便利屋さんメンバーの中で、草刈りや剪定等を担当されている四人の方々に集まって頂き、お話を伺いました。



左から兼俊勝さん、安野和雄さん、兼俊勉さん、秋積達雄さん

『活動を始めたのは平成二十四年で、四年経ちました。草刈りや剪定、重たいものを運ぶなどのほかに、自分たちでは出来ないような大工工事、電気工事、水道等に関する事は、それぞれ専門知識のあるメンバーや業者さんへ依頼しています。』

便利屋の組織は大道理をよくする会の互助部に属し、大道理地区全体で協力を募集したり、勧誘したりして集まったメンバーで構成されています。

具体的な活動内容と心掛け

初年度の平成二十四年は年間で依頼は十件程度ありました。今年度までの依頼内容としては、庭木の剪定、草刈りなどの作業が多いです。右下の写真は今年の六月に依頼を受けた、トタン屋根の固定作業の時のものです。草刈り作業ではリーダーの安野和雄さんが依頼を受けた現地を見て、自分たちで出来るかどうかを判断しています。』



▲修理作業中です

『普段、徳山市街地で生活されておられる方のご実家の草刈り作業で、敷地が広く、草丈がかなり高くなっていたため、二回に分けて作業しました。作業の時は、暑かったり、傾斜が急で足元が悪かったり、蜂やマムシなどのいるかもしれない等、危険と隣り合わせなので、安全に作業できるように心がけています。傾斜の急な場所での作業では、命綱を巻いて作業したこともあります。便利屋として活動する時はけがをしないよう、一緒に作業している』



▲作業依頼をされたTさんと一緒に

ほかの人に怪我をさせないということを中心掛けています。それから、依頼された方が納得される仕上がりになるような作業をして、喜んで欲しいという思いでしています。



▲6月23日。Iさん邸の剪定作業風景



▲6月8日。剪定前のIさん邸のサツキです！



▲剪定作業をしています

剪定作業では翌年、綺麗に花が咲くように剪定の時期や方法などを考えながら作業しています。



草刈りや剪定、農作業などの代行のほかに、今年、お一人暮らしの高齢男性の方から、ご自分が入院するなど、もしもの時があれば、飼っている猫の餌やりと水やりを代わりにしてほしい、というご依頼を頂き、餌と水のやり方をお聞きして、もし入院された時には、親族の方に夢求の里交流館に連絡して頂くようにして、いざという時、すぐに対応できるような形を作りました。』

地域の皆さんへお伝えしたいこと

安野和雄さん「ちょっととした小さなことでも遠慮せず、ご連絡下さい。』
兼俊勝さん「大きい仕事はできませんが、四五人でできることであれば、対応します。何でもお気軽に声をかけて下さい。』
秋積達雄さん「困ったことがあれば、草刈りだけでなく、これからの時期の台風対策や、害虫の駆除などお受けします。困ったことがあればお互い様で助け合いましよう、という組織なので、お気軽にご相談ください。』
兼俊勉さん「窓口は支所になっていますので、お気軽に何でも相談してください。自分たちで対応できないことは専門家や、業者の方へお願いします。』
それから、『自分たちも年齢を重ねれば、いずれは自分で草刈りや、剪定、自宅のメンテナンスなどができなくなる時が来て、そうなった時には便利屋さんをお願いするようになります。ちょっとしたことでは業者さんに依頼するより、地域でできる人をお願いするという助け合いは、地域のありべき姿だと思います。』と、皆さんおっしゃり、お互い様の心で作業に臨まれていることが伺えました。今後ともどうぞよろしくお願ひします。



▲田中章夫向道支所長より「里の案内人」の認定証を受け取る漫画塾生代表の切戸章平さん

今年の四月に大道理地区へ移住された漫画塾生の六名の皆さんが「里の案内人養成研修」を受けられ、七月十二日、田中章夫向道支所長より代表者の切戸章平さんに認定証が授与されました。それから間もない七月二十一日には、「里の案内人」としての初めての活動として、大道理地区の空き家調査に参加されました。そこで、里の案内人になられたことへの思いや、活動に参加された感想、これからの抱負をお聞きしました。



▲里の案内人認定証です！

『きっかけは、兼平好さんから勧誘されたことなのですが、最初は自分から出来るかどうか分からないという思いがありました。』

しかし、里の案内人の皆さんお一人一人が出来ることを肩の力を抜いてされている姿に触れて、気負わずにやってみようと思えました。

初めての活動は空き家の調査で、大道理地区には二十軒以上の空き家があることに驚きました。調査はトンネルを境にして二つの班に分かれて行いましたが、写真は撮っている間に、兼平さんは屋根など家の状態をチェックされていて、それを見て



▲空き家の外観写真撮影をされています

いると本業で建築のお仕事をされているだけあってプロはすごいと感じました。私たちが漫画塾生は、里の案内人さんのお世話になって大道理に移住しました。このことは、里の案内人として

漫画塾生さん、里の案内人へ！
委嘱式&今後の活動についての抱負

活動する中で、移住希望の方に大道理地区の魅力を伝える際、お役に立てる部分になると思います。これから里の案内人として自分にできることをさせていただきます！

大道理地区に伝わる信仰 観音様のご縁日

八月十日。観音様のご縁日で、お祭りをしている「大島」、「西」、「鹿野地」地区ではお参りに来られた方たちへお接待をされているというのを兼平好さんからお聞きして、田中支所長とお参りに行かせて頂きました。

【大島地区の観音様ご縁日】



大島地区の観音様です
お地藏様と一緒に祀り
されています

秋積博さん著の「大道理の昔」の中に『大道理各部落に多くの地藏、観音、弘法大師等が祀られている。昔医者もなく唯神仏に願かけて病の平癒を祈り又信仰心ともなつて来たのだから。』とあり、それぞれの地区のお地藏さまや観音様が祀られた年代、いわれなどについて記してあります。今回八月十日のご縁日に行かせて頂いた三地区の観音様について、「大道理に昔」に記されていることや、ご縁日でお会いした方々からお聞きしたお話など、ご紹介させて頂きます。

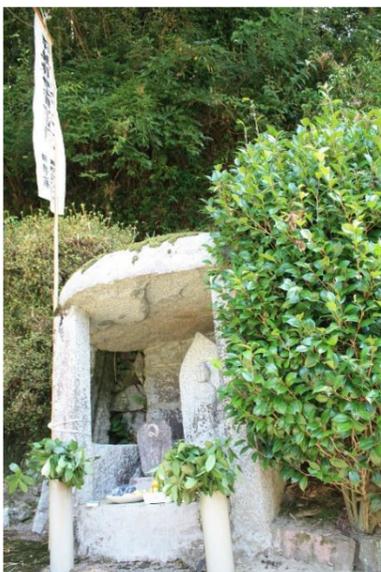


大島地区の「観音様のご縁日」の風景です

大島地区に祀られている観音様。『大道理の昔』によれば、『福田治雄氏宅入り口に石を積んでお堂がこしらへてありその中に花崗岩で丸掘りの地藏と光背浮彫りの観音が同居しておられる。地藏は文化十四年（一八一七年）丑仲春吉日と文字があり火房地蔵尊と彫つてある。昔大島

には、火災が再三発生していたのでこの地藏尊を安置して祈願したものだとの話、観音の方は兼平源次郎なる人が興禅院跡にあつたものをここに持つて来られてから同居になった』とあります。お地藏様は火事から守つて頂くために祀られ、観音様について、一緒に祀られることとなった移設のいきさつについては触れられていないため、どのようなきかけでこちらにお祀りされることになったのか今となっては分かりません。ご縁日に伺ったところ、地区の皆さんが集まっておられ、お接待して下さいました。お話を伺ったところ、「毎年持ち回りでご縁日の日にお供えやお接待等の準備をする当番をしています」とおっしゃっていました。それから、「大道理に小学校があつた頃は、子どもたちがプールから上がつて、そのままお参りに来ていて賑やかだった。」とも皆さんお話しされ、とても懐かしそうにされていました。

【西地区の観音様ご縁日】



西地区の観音様です

次に西地区の観音様にお参りへ行きましたが、人の姿がなかったため、前自治会長のIさん宅でお伺いしたところ、暑いので午前中にお参りをされたとのことでした。こちらの観音様についても「大道理の昔」の中では『この観音もいつ頃ここに安置されたものか不明』とありますが、一緒に祀られているお地藏様については、『安山岩で作った差し込み式の古い地藏が祀つてあるが、多分石の材質からみて昔からある地藏と思われる。』と書かれていて、『防長地下上申附図に地藏堂が記してある。』とも記されていて、地下上申附図が描かれた江戸時期の享保から宝暦年間には既に祀られていたということになり、長く信仰されてきたお地藏様あることが伺えます。

※防長地下上申（ぼうちようじげじようしん）：江戸時代に記された各村落のほぼ同一年代の村勢を知ることのできる文献。山口県の広報広聴課が発信している「山口きらめく」の文面の中で地下上申の附図について「この絵図は藩内の地理に関する仕事を担っていた萩藩絵図方（えずかた）によつて、一七二七（享保十二）年から一七五三（宝暦三年）にかけて作成されたと推測されています。いう説明が書かれています。

【鹿野地地区の観音様ご縁日】



鹿野地地区自然石の観音様です



鹿野地地区の千手観音様です

「大道理の昔」の中で、『観音様はいつ頃ここに安置されたか不明で現在花崗岩で造つたお堂があり、その中に自然石の観音と大日如来、弘法大師が同居となつている。大日如来は花崗岩の座像で兼平新右エ門がお堂と一緒に文化四年（一八〇七年）十一月安置寄進となつている。又、弘法大師の安置については次の通りの書きものがある。『弘法大師安置、大道蝮川茂、點眼師万年山主、明治三庚午、西鹿野地、金子屋兄弟分之』と記されている。』とあり、大日如来様、弘法大師についてのは書き物に残されているものの、自然石の観音様の事は、当館の井上館長によると、祀られた日時などが記された木簡がかつてはお堂の中にあつたようですが、雨風に晒されて判読出来なくなつていたようで、今となっては知ることができません。

最後に鹿野地地区の観音様へお参りに行きました。鹿野地地区は全戸でABCと三つに分かれてお接待の当番をされるそうでお参りするとお菓子とお茶で接待して下さいました。かつては中学生以下のおともたちがお接待をされていたそうです。大島地区でもお聞きしました。が、沢山のお参りがあつた頃は、竹に木の葉を刺して、お参りに来られた方の数を数えていた、とお聞きしました。

夢求の里交流館からのお知らせ

三サロンのお知らせ

日時：9月14日（水）
13時30分～16時
場所：大道理夢求の里交流館 大会議室
対象者：男女年齢問わず
備考：どなたでも歓迎
備考：ご希望の方は、送迎をいたします

サロンの誘い

日時：9月28日（水）
10時30分～16時
場所：大道理夢求の里交流館 大会議室
対象者：男女年齢問わず
備考：どなたでも歓迎
備考：ご希望の方は、送迎をいたします
★午後三時頃 道の駅ソレノネ周南「移動販売車」来館予定です！



編集後記

「今年の夏は本当に暑い。異様な暑さですね。」と、あちらこちらで耳にした暑い暑い夏でした。雨もほとんど降らず、こんなに暑いと、「カメラを持ってちよつと海沿いの町に猫さんに会いに行きましょう」という気力も湧かず、現在、猫欠乏症に拍車がかかっています。私事ですが、今年四月に十八歳を迎えた実家の愛猫「ミミ」が七月に天寿を全うしました。実家に帰ると全力で「ミミ」に甘える私に対して、「この人は全くしやうがないねえ」というような顔をしながら甘えさせてくれていました。「この日」の訪れを避けられぬことは頭では分かっていても、別れはやはり、とても悲しいものでした。今号の「むくろじ」は「便利屋さん」、「漫画塾生さんへ里の案内人認定証授与」、「観音様のご縁日」の三本立てです。「便利屋さん」特集では、高齢で独居の方から、「ご自分に万が一のことがあれば、代わりに飼育猫に餌を与えて欲しい」というご依頼があつたというお話も載せていますが、ペットは家族同然、子ども同然の大切な存在で、万が一の時、対応して貰える団体が地域にあると、本当に安心です。「お互いさま」と地域で助け合うことが地域のあるべき姿です。ちよつとしたことでも遠慮せず声をかけて下さい。と便利屋の皆さんがおっしゃった言葉が印象的でした。それから、先月の「むくろじ」の全面特集をさせて頂いた「漫画塾生」の方が「里の案内人認定講座」を受けて認定証を授与され、「里の案内人」として「空き家の実地調査」をされたことを受けて、これからの抱負について伺つたお話を掲載させて頂いています。「気負わず肩の力を抜いて、みんなを力合わせながら」のスタンスで今後ともどうぞよろしく願っています。最後の観音様のご縁日。子どもの頃、地元で「お地藏様のご縁日」の八月二十四日にお参りに行つていたことを思い出して、とても懐かしい気持ちになりました。かつてご縁日には子どもたちや参詣者で賑わつたことを皆さんからお聞きして、自分の子供時代と重ね合わせてかつての「観音様のご縁日」の風景に思いを馳せました。残暑厳しく、涼やかな風吹く季節が待ち遠しい今日この頃、皆様どうぞご自愛ください。（山縣あきこ）